

スノーボード女子ハーフパイプ

小野光希選手
大舞台で輝け

吉川の高3 地元市民ら応援旗に寄せ書き

北京冬季オリンピック(五輪)が4日、開幕する。県内からは、高校3年生の小野光希選手(17)＝吉川市在住＝がスノーボード女子ハーフパイプ(9日予選、10日決勝)に出場。1月15日にスイスで開かれたW杯最終戦で2位に入るなど、上り調子だ。地元吉川市も、市民の応援メッセージを小野選手に届ける予定だ。

「北京オリンピックに出場して、メダルを取れるようがんばる」。昨年5月、小野選手は吉川市のラジオ番組「金のなまず」にゲスト出演し、意気込みをこう語っている。

小野選手は両親や姉の影響で幼少からスケートボードを始め、小学5年生でプロ資格を取得。吉川市立中央中学3年生だった2018年に世界ジュニア選手権を制し、注目を集めた。

中学時代のクラス担任だった上野信代教諭は、こう振り返る。「世界で活躍する」という目標を当時から持つて、しっかりと自己管理していた。遠征で学校を休んでも、宿題は全部や



る。芯の強い子だけど、学校に戻ると友達には気さくだった」

市役所の1階ロビーにはメッセージコーナーが設けられ、ゆかりの人びとが次々と応援旗に活躍を願う言葉を書き入れた。応援旗は予選がある9日より前に、写真データで小野選手に届けられる予定だ。

吉川小学校4年の岡田亜衣子さん(10)は、応援旗に「光希さんなら金メダルとれます！がんばってください」と書き込んだ。

岡田さんは昨年の全日本スノーボード選手権U-15(15歳以下)で3位入賞。「小野選手は私のあこがれ」と話す。

昨年4月の国内の大会で初めて小野選手と会い、「同じ吉川に住んでいます」とあいさつした。「か

わいいね」と言葉をかけてくれて「めっちゃ、うれしかった」とほかにむ。

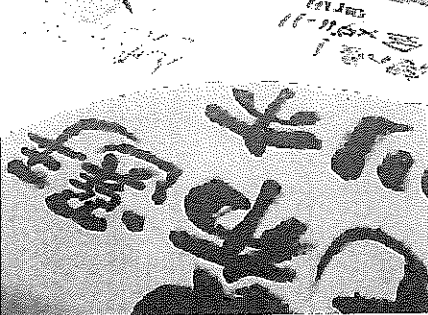
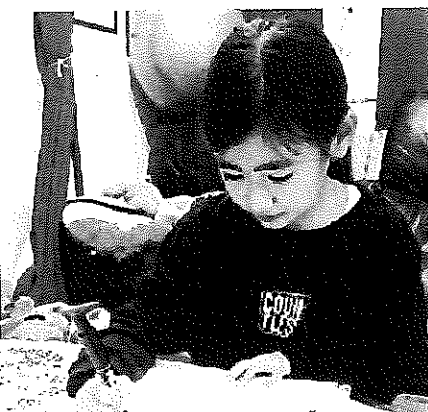
岡田さんにとって、小野選手の演技は「手本だ」という。「空中ターンの高くて感動する。私も将来、オリンピックに出たい」

(米沢信徳)



@mitsukiono

北京五輪に出場する吉川市の小野光希選手＝小野選手のインスタグラム(@mitsukiono)から



小野選手への応援メッセージを書き入れる岡田亜衣子さん＝吉川市提供



JR吉川駅に市が掲げた小野選手の五輪出場を祝う横断幕＝吉川市木売1丁目